

障害者自立支援法は

野の並享子

問 障害者が人間として当たり前前の生活をするために必要な支援を「益」として、負担を課すやり方は憲法25条に反する。

国に撤回を求めるべきである。
通所の場合、一割負担により19倍の値上げとなり、

障害年金の2割以上の負担になる。入所でも食事・居住費が全額自己負担になり、サービスが受けられない人も出てくる。
京都市や横浜市では、負担の軽減措置を決めたが、野洲市としても検討すべきである。

今後の検討課題

市民健康福祉部長

答 障害者自らも制度を支える一員として、利用量に応じた一割負担を求めている。利用者負担の上限を設定し、負担軽減を設けており、

国に対して撤回を求め、状況を見ながら判断する。
負担軽減は、考えていないが、今後の検討課題でもある。

農業の担い手の育成を

問 野洲市の農業政策は、「経営所得安定対策等大綱」を基本としている。

これでは9割の農家、4割の農地を切りする農業破壊である。担い手の育成として、

新規就農者、定年帰農者への支援、「農業ハローワーク制度の創設」などで応援すべきである。

地元野菜や加工品を活用するために、契約栽培を協議すべきである。



施設風景

国の方針どおり取り組む

環境経済部長

答 規模拡大で収益をあげる「担い手」に限定し補助をしていく、国の方針通り、積極的に取り組む。「環境こだわり就農塾」の設置で農業者の育成。契約栽培するには、規模が小さすぎる。

北山ダムの整備および治水対策は

小島進

問 1級河川大山川上流

湖南市菩提寺地先にある北山ダムは、南桜地区北桜地区、農地約600反の重要な農業用水として利用している。

治水利水を兼ねた、当北山ダムは南北桜農地の水利権のみを有する農業用水源である。
老朽化が進み、堰堤より一部水漏れが発生している状況で改修整備が必要。

要である。
北桜地区より整備の要望も出ている。
近年の異常気象およびダム上流菩提寺北山地域の住宅開発等により、洪水時には、上流の菩提寺地区ダム周辺の農地道路および住宅付近がたびたび冠水するので、ダムの余水吐け切下げの要望が湖南市より出ている。
上流下流地域が助け合

問題解決に協議を進める

都市建設部長

答 ①ダムの整備計画は、過去に何度が改修に向けての協議をされているが、水利権の問題を解決する方策が見出せないまま、現在に至っている。

②治水のための余水吐口の切り下げは、河川管理者である、県南部振興局・甲賀県事務所から、水利権の問題解決ができれば協議に同意している。

今後は農業用水として利用している地元とも協議していきたい。



北山ダム余水吐け

まちおこしに 花のネックレス構想は

林 克 はやし まさる

問 美しい風土を守るまちづくりの一環として、やめ浜再生対策事業を計画されているが、この吉川地先に公共事業用地として取得した24反もの土地が放置されている。この遊休地にレンゲ、

ひまわり、コスモス等を栽培し、オートキャンプ場と一体化した観光スポットは考えられないか。

農業施策等での遊休地を利用し、花等を楽しみながら市内観光施設を巡る事もできる花のネックレス構想といったものは考えられないか。

また美しい景観に恵まれた風土を守り育てると言われているが環境施策以外ではどのような考えか。

花のスポットを増やし 観光振興に努める 環境経済部長

答 花のネックレス構想については、来訪者に心の癒しと感動を与えられ、さらに他市町と連携してルート化することで誘客促進につながるかと考えられるので、念頭におきながら観光振興に努める。

市としては、来訪者に「心の癒し」を体感いただけるような観光振興をめざす。

意識の醸成等が必要と考える。

美しい風土を守り育てるまちづくりには、市民一人ひとりがわがまちに對する愛情と誇りを持つことが重要であり、市民



遊休施設の利用と フルセットの見直しを

田中孝嗣 たなか たかし

問 合併により、多くの施設が無目的で利用され、極端な場合は物置として利用されている。再活用されず残念である。

今年度も多くの施設が建設の予定であり、まずは遊休施設が増えることになる。

今後それらをどのように利用するのか、有効に利用できるのか、今後のまちづくりに大切なこと

地元などと協議し有効利用を 総務部次長

答 遊休施設の取り扱いについては、地元や関係者等と十分に協議を行い有効利用を図っていく。また利用が図れない施設については処分をしていきたい。

分庁舎の議場については旧中主の歴史を尊重しながら、会議室や研修の場としての利用も考えていきたい。フルセットに関しては、今後施設、建物の建設に

あたっては、目的や内容を精査して、広域で設置できるものは、湖南4市で協議していきたい。

である。

分庁舎の3階にある旧中主の議場もその一つである。その議場を使い子どもたちの心の教育ができないものか、躰や礼儀など道徳的なものを。また子ども議会も面白い。

老人会などに委託をし、将来を担う大切な子供に夢を託すのも大切。

今後多くの遊休施設を、有効に使うには、地元や



分庁舎3階(旧中主町議場)



色々な方で検討委員会を立ち上げるべきであると思うが見解を。

また、18年度の予算を見ると、起債や基金の取り崩し等非常に厳しい予算編成になっており、今後全ての施設や建物を本市だけで持つのでなく、広く湖南4市で考えるべきである。